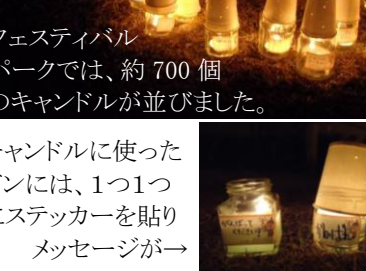


忘れない、つなげていく...
3.11 逗子 6万人のキャンドルを灯そう



黙祷後、各キャンドルナイト会場で分灯。
キャンドルナイトの灯は、岩手県陸前高田市の「希望の灯り」(復興を願うシンボルとして灯る火)から分灯されたものを種火にしました。



詳細は Facebook ページ (<http://www.facebook.com/311zushi>)
をご覧ください。また、市民の方で復興支援活動を行っている方
は、活動内容などを Facebook ページでご紹介ください。

多くの方々のご参加、ご協力、心より感謝いたします。
逗子は、これからも 3.11 のことを忘れません。
ずっとつなげていきます。

4月 フールセンターカレンダー

※開館時間は、9時～21時です。

日	曜日	プール専用使用コース数		交流センター
		10～12時	13～15時	会議室関連
1	日			(6月分先着予約開始)
2	月		2コース	
3	火	休館日		
4	水			
5	木		2コース	6月分抽選申込受付期間
6	金			
7	土		2コース	
8	日			
9	月		2コース	
10	火		2コース	
11	水			
12	木		2コース	
13	金			
14	土		2コース	
15	日			
16	月		2コース	
17	火	休館日		
18	水			
19	木		2コース	
20	金			(6月分抽選結果発表)
21	土		2コース	当選確定手続期間
22	日			
23	月		2コース	
24	火		2コース	
25	水			
26	木		2コース	
27	金			
28	土		2コース	
29	日			
30	月		2コース	
5/1	火	休館日		
2	水			(6月分先着予約開始)
3	木			
4	金			
5	土			

- ・専用使用がある時間帯は3コースのみの使用となります。
- ・小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です。(付添1人につき2人まで)



逗子市の子どもさん達へ

皆さんは逗子の子供達です。今日東京から引っ越して来た君も、ひいお爺さんのずっとずっと前 400 年も逗子にお家のある君も、みんな一緒に逗子の子供達の中の仲間です。君たちがやがて社会人になる頃には逗子の町はどんなに変わっているでしょう。

私は 60 年前、出来て間もなくの逗子中学校の先生として逗子の住民になりました。日本がやっと平和条約を結んで世界の仲間入りが出来た年です。

私は生まれて初めて見た逗子の町が無性に珍しくて、先生仲間と逗子の歴史を調べ始め面白くて止められず、今 96 歳になりましたが、まだ調べきれません。眼も悪くなっていますが、でもお陰で読む本が一杯あって、楽しいですよ。

今皆さんは遊び盛り、それでも色々な誘惑もあって暇がないでしょうが、どうか身の回りの小さいこと・・・例えば逗子って言う名前は何で付けられたんだろう?・・・なんて疑問を持って自分で調べてみて、解かったらチョコチョコ NOTE に書き留めて見たらどうですか?駄目かな?成人してからの君たちのいい宝物になると思いますが・・・。



くろだ しろう
黒田 康子
1915 年群馬生まれ。奈良県庁社寺課勤務の夫戦死。
1951 年来逗以来、市立逗子中学校、私立横須賀緑ヶ丘高校に奉職の傍ら郷土史を勉強。

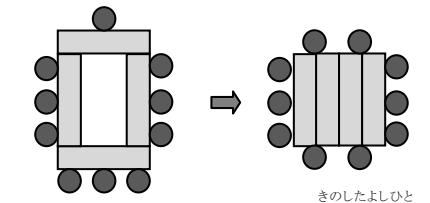
逗子文化プラザ
市民交流センター
〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11
TEL 046-872-3001
FAX 046-872-3003
kouryu@city.zushi.kanagawa.jp

つながる

テーブルの配置を変えて、つながる心
参加者全員でアイデアを出したり意見交換をしたりする、いわゆる「ワークショップ」を行うときに、私がこだわっていることが1つあります。それは、会場設営にきちんと時間をかけること。

例えば、会議や打合せをするとき、長机を「口の字」の形に並べることがよくありますが、人数がさほど多くなければ、3～6本の長机を合わせて皆で囲むようにすると、ずっと雰囲気やわらかくなります。向こう側に座っている人との間に、ぽっかり空いた空間があると、どうしても互いの気持ちに“距離”が生まれがちですが、“地続き”の場所に座ると、自然と「一緒に考えよう」という気分になるものです。さらに、真ん中にお菓子があって自由に手を伸ばすことができれば、きっと和やかな雰囲気で話が弾むことでしょう。

会議が始まる前に、ひと手間かけて机を動かすだけで、和気あいあいと意見交換のできる雰囲気が生まれ、話し合いが実りあるものになるなら、やらない手はありません。皆さんも、ぜひ、試してみてください。市民協働コーディネーター 木下理仁



ボランティアセンター(博)

逗子市社会福祉協議会では、平成 14 年から福祉教育の検討を行ってきました。それを受け、今後どのように福祉教育を具体化していくかを協議する場、福祉教育推進事業のより広域的な展開を検討する場として、約 2 年毎に名称をかえ現在 4 つ目の「福祉教育拡充チーム」を設置しています。

福祉教育の当事者である学校関係者、逗子市教育研究所、担い手としての福祉施設代表、ボランティア、地域活動者等が参画するこのチームが、このたび「第 4 回神奈川県バリアフリー街づくり賞」に選ばれました。



↑平成 24 年 1 月 31 日(火)
黒岩県知事と受賞者
福祉教育拡充チームの
矢原委員(前列一番右)

ハード部門 2 件、ソフト部門 2 件のうち「ソフト部門(活動)」での受賞です。セミナーのプログラムを参加者とともに企画するなど、市民、関係団体、行政との協働による心のバリアフリー等の福祉教育の普及活動が評価されました。

開設日・時間:月曜日～金曜日 9時～17時
(交流センター休館日・祝日は除く)
連絡先: 電話 046-873-8037
FAX 046-872-2519
Eメール vc@zushi-shakyo.com



逗子吾妻鏡研究会

「吾妻鏡」は、鎌倉時代に成立した日本の歴史書。鎌倉幕府の将軍の年代記で、逗子との関わりも数多く記載されています。

代表 伊藤 一美

会員募集中！



「吾妻鏡」をよむと以下の事に気づかされる。

- ① 地元逗子・鎌倉など三浦半島周辺の地名及び状況が明らかにできる。
- ② 武家政治誕生に逗子・三浦半島地区の武士や人々がおおいに支えた事がわかる。
- ③ 鎌倉幕府が逗子地区を風光明媚で住みやすい地として把握していることがわかる。
- ④ 武家の記録を通じて歴史のたのしさ、おもしろさ、そして不可思議さが知られるとともに歴史を通じた地域文化の交流を専門機関の先生方とできるようになった。
- ⑤ 地域・近隣の歴史展示会などにたくさん参加できる。

事務局 高橋力雄
046-871-7056



返葉こえだの会

自分の好きな作家の作品を、声を出して読んでみませんか。決められたテキストではなく、作品を自分で選ぶことが出来るのが、この会の特色です。深く読む事が頭の訓練になり、同時に声を出すことが健康にも役立ちます。

指導者 遠藤美枝子
連絡先 河辺 陽子
046-872-2553

活動日：
毎月第1月曜 13:00～
毎月第1水曜 10:00～



会のあとのティータイムも楽しいですよ！



問合せ 雨宮郁夫
046-871-0246

逗子よもやまばなしの会



かもめおはなしの会

♪なかなかほい
そとそとほい・・・♪
楽しいわらべ歌が聞こえてきます。えほん、おはなし、かみしばいやテーブル劇。毎回楽しいプログラムで、子どもたちも笑顔いっぱい！是非、ご一緒しませんか？



問合せ 和田和美
046-875-4933



お知らせ

掲載申込み受付中！

2012年度版
ずし生涯学習ガイドブック

今年度から掲載申込書が、市民交流センターの団体情報登録シート、ボランティアセンターへの登録書と兼ねることになりました。

登録シートは随時受け付けますが、期限内に提出されたものが掲載対象となります。掲載希望の市内の学習グループ・サークルは4月27日(金)までに郵送・FAX・Eメールで、または直接市民協働課へ。

登録申込み受付中！

逗子市生涯学習支援市民講師

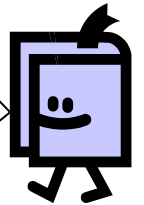
逗子の生涯学習のために、講師として活動したい人と、講師を探している人をつなぐため、市民講師の登録制度を行っています。専門的知識または技術・技能をもち、生涯学習活動について理解と熱意のある人は、市民講師として登録できます。4月27日(金)までに登録が完了した人は、2012ずし生涯学習ガイドブックに掲載します。お申込みは市民協働課まで。

図書紹介



「ちよボラ」＝「ちょっとしたボランティア」です。何かやりたいけど、「ボランティアは大変そう」と思っている方におススメ！「自分の好きなことや、できることから始めればいいんだ！」って気にさせてくれる、そんな5冊セットです♪

市民活動スペースの図書コーナーでさがしてねっ



監修・指導＝日比野正己



「お坊様、この桜はむかし村人みんなで力をあわせて、植えたものなんです。この桜がきれいな花をさかせたので、山の神様もたいそう喜びになり、お恵みをたくさんくれるようになったのです。おかげで村は豊かになって、みんな幸せにくらせるようになりました。」

国師さまはその話を聞くと、おじいさんに苗木を分けてもらい、都へのおみやげにすることにしました。そして、吉野という山に、その苗木を植えてみました。するとみるみる大きくなって、次の年の春、その木はすばらしい花をさかせました。

国師様はそれをたいそう喜びになって、桜の木のお礼に、その村に「桜山(さくらやま)」という名前をつけてあげました。

今では、僕のすんでいるお寺も桜の木がふえて、春になると桜の花がいっぱいになるけど、また桜山の桜をみてみたいと思います。

「お坊様は、その桜の木がたいそう気に入られたようですね。」

「わたしは山の向こうからきたのですが、こんなにすばらしい桜の木は今まで見たことがありません。どうしてこの木はこんなに美しい花をさかせるのでしょうか。」

「お坊様、この桜はむかし村人みんなで力をあわせて、植えたものなんです。この桜がきれいな花をさかせたので、山の神様もたいそう喜びになり、お恵みをたくさんくれるようになったのです。おかげで村は豊かになって、みんな幸せにくらせるようになりました。」

「わん、わん、わん。(ほんとうにすごいや)」

それはとても大きく一本一本がまるで肩を組み合うように枝を広げ、いっぱい花をさかせていました。

そして、そんな木が、山全体に何本も何本も生えているのです。

しばらく僕らが桜の木をながめていて、一人のおじいさんが近づいてきて、こう言いました。

「お坊様は、その桜の木がたいそう気に入られたようですね。」

「わん、わん、わん。(ほんとうにすごいや)」

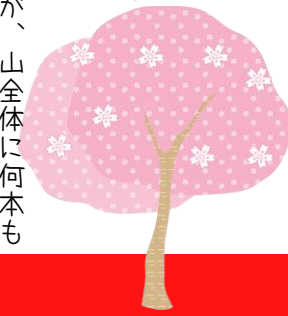
桜の木じゃないか。こんなに素晴らしい桜の木はみたことがない。」

途中の村で、

ある春の日、僕は、海のほうまでさんぽにでかけました。空は日本晴れで、うれしくて、ついつい遠出をしてしまいました。

「お坊様、その桜の木がたいそう気に入られたようですね。」

「わん、わん、わん。(ほんとうにすごいや)」



カハルさま(桜)



僕の名前はシロ。どこにでもいる、ふつうの犬です。でも僕の主人様は、名前を夢窓国師といって、とってもえらい人みたいなんだけど、僕にとっては、めんどろをよくみてくれるいい人ということしかわからないや。

「私が住んでいる逗子をもっと知りたい。好きになりたい。そして、好きになってもらおう。」そんな発想で、昔から逗子に語り継がれてきた民話や伝説の中から、現代風の解釈とユーモアを加え、7話を創作しました。

逗子の山や川も今ではすいぶんと姿を変えてしまいましたが、家族の楽しい会話に登場できたら最高です。(あとがきより抜粋)

逗子市商工会青年部30周年実行委員会

逗子のむかしばなし

一伝えたい七つの物語

図書館で見つけてね♪

